

## 令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

大阪府		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
大阪教育大学附属高等学校池田校舎	国立大学法人大阪教育大学	国立

## 1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
大阪教育大学 附属高等学校池田校舎	<a href="https://f.osaka-kyoiku.ac.jp/ikeda-h/overview/curriculum/">https://f.osaka-kyoiku.ac.jp/ikeda-h/overview/curriculum/</a>

※必要に応じて行を追加すること。

## 2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL
大阪教育大学 附属高等学校池田校舎	<a href="https://f.osaka-kyoiku.ac.jp/ikeda-h/overview/school-evaluation/">https://f.osaka-kyoiku.ac.jp/ikeda-h/overview/school-evaluation/</a>

※必要に応じて行を追加すること。

## 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

## (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

## (2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

## (3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

## &lt;特記事項&gt;

特になし

### 3. 実施の効果及び課題

#### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例では、「グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成」を目標としており、Society 5.0の世界で必要となるイノベティブなグローバル人材の資質・能力を獲得するために次のような心構え・考え方や価値観が重要であると考えている。

- ・ 既存の知識の枠組みにとらわれず、自由な発想で柔軟に物事を捉えようとする心構え
- ・ 課題に関する、多面的かつ批判的な考え方や偏見の無い価値観
- ・ 課題解決に向けた主体的な行動

これらを身に着けるために、「グローバル探究」の科目を設定し、グローバル人材の育成をめざしている。

実施の成果として、生徒による「高校生国際会議」での主体的な運営、課題発表、ワークショップ参加など積極的な貢献が見られた。また、対外的な発表への参加も積極的に参加し、口頭発表やポスター発表などの件数も増加しており、高い評価を受けている。

今後の課題としては、全体として生徒の探究活動・課題発表の質を更に向上する必要があることや、できるだけ多くの生徒が参加できるように対外的な成果発表の機会を確保することである。

#### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施することにより、「グローバル探究」では、海外連携校・大学との協働を通してグローバルな課題に取り組み、ディベートやディスカッション、プレゼンテーション、クロスカリキュラム学習等の活動を通して、寛容性や主体性、協働性を身に着けることにより社会課題を創造的に解決する意欲と資質、能力を習得させる。これらの学びを通じて、社会の発展に寄与する資質や能力、態度を持った人材を育成する。

### 4. 課題の改善のための取組の方向性

「グローバル探究Ⅰ」（1年）で探究活動の基礎を、「グローバル探究Ⅱ」（2年）で探究活動の実践を行っている。探究活動の質を向上させるために、相互に乗り入れて活動する機会を増やし、学びの継承を図る。また、生徒の探究活動を支える施策として、「リサーチマップ」の活用や、卒業生や保護者の専門分野を登録したデータベースを構築し、生徒が活用できるようにする。

次に、積極的に国内大学との高大接続連携をすすめ、質の高い探究活動を実施するとともに、生徒の課題発表機会を確保し、合わせて課題発表の質の向上に努める。